

政 策 部

政策課

課長 小西 敏章

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	新卒IJターン定住化促進事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつながるまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み			OIJUターンや新規就農希望者への支援
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			④新しい働き方・雇用の創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	新卒IJターン定住化促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H27～H31

本市と塩尻市、安曇野市との連携事業として、松本平の暮らし、働き方の魅力といった様々な情報を、「I・Jターン」となる就職期を控えた大学生に対し様々な情報を配信し、支援を行うことで、新たな人の流れの創出、地域の若者の社会増につなげていくもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 セミナーの開催
就職期を控えた大学生を対象に、松本平の暮らし、働き方の魅力を、実践者の話も踏まえ、セミナーを開催した。
(1) 開催時期 平成29年7月11日
(2) 開催場所 信州大学松本キャンパス構内
(3) 参加者 13名
- 2 企業訪問
本市へのI・Jターン就職を希望する学生を対象に開催。松本平の企業見学を通じて、就職後の生活や仕事のイメージ形成促進を図った。
(1) 開催時期 平成29年9月14日、15日(2日間)
(2) 訪問場所 松本市内企業2社、塩尻市及び安曇野市内企業各1社
(3) 参加者 7名
- 3 インターンセミナーの開催
3年次冬休みの本格的なインターンシップに向けた支援として、松本地域各企業のインターンシップ受入説明に係るセミナーを開催した。
(1) 開催時期 平成29年12月9日
(2) 開催場所 松本市中央公民館
(3) 参加者 18名

<現状に対する認識>

27年度より2年間は首都圏大学生向けに同事業を実施していたが、より実際の移住につなげるため、29年度からは大学時代を松本地域で過ごす大学生(信州大学及び松本大学)の県外出身者をターゲットに、塩尻市及び安曇野市や大学と連携し、より直接性のある事業展開を実施している。平成30年度及び31年度は、これまでセミナー等に参加した学生の松本地域での就職・定住に結び付けるためのより効果の高い事業展開と、フォローアップが求められる。

<指標の達成状況>

総合評価

C

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	移住(定住)に至る参加者(累計) (単位:人)				
指標の設定理由	事業の成果を直接測る数値のため				
目標値	2	4	7	10	10
実績値	0	0			
達成度	0.0%	0.0%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,520		542				
国・県	658		463				
利用者負担金							
その他							
一般財源	862		79				
② 人件費(千円)	1,154	人工	1,139	人工		人工	人工
正規	1,154	0.15	1,139	0.15			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	2,674		1,681				
前年度比	—		62.9%				

事務事業評価票

事務事業名	一般企画(110周年記念式典)
-------	-----------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	一般企画関係費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	主な取組み		
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H29
--------	-----

市制施行110周年を祝い、これまでの歴史を振り返るとともに、未来へ向け新たな一歩を踏み出すきっかけとなる記念式典及び記念講演会を開催するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

事業内容

- 記念式典
日時:平成29年5月1日(月) 場所:まつもと市民芸術館主ホール
入場者数:1,076人
- 記念講演会
講師:柳田邦男(ノンフィクション作家)
- 記念演奏会
演奏者:天満敦子(ヴァイオリニスト)
- 記念式典用VTR制作
- 民放各社による記念番組制作
民放4局で110周年に関連する番組を制作し、放送
- 冠事業
記念式典を含め、全58の事業に市制施行110周年の冠を付し、年度を通じて祝意を示した。
- 未来に向けた提案事業
110周年を機に、未来志向で、松本市の将来の姿を構築するスタートとすべく、7つの事業を実施した。

<現状に対する認識>

110周年を機に実施した事業について、今後、継続等について検討する必要がある。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	指標の設定理由					
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源		3,662		
② 人件費(千円)	人工	2,277	人工		人工
	正規	2,277	0.3		
	嘱託	0			
合計コスト①+②		5,939			
前年度比	—	—			

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ユニバーサルデザイン推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

ユニバーサルデザインの推進に向け、4つの分野(ひとづくり、まちづくり、ものづくり、ソフトづくり)を定め、市民、行政、民間団体、事業者等が協働し、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催(2回開催)
- 2 広報まつもと特集号(広報11月号掲載)
- 3 啓発パンフレットの発行(市内小学4、5、6年生へパンフレット配布)
- 4 一般社団法人まつもとUD研究会への参画

<現状に対する認識>

推進基本指針の進捗状況について、評価検証を行い、客観的な評価検証、市民意識の醸成を図るため、外部員による検証会議を開催。
その結果、更なる普及、意識啓発を図る必要があると認識している。
また、出前講座の実績がないため、周知等工夫し、出前講座を通じて、市民へ意識啓発を図る必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,026		876				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	1,026		876				
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工	
正規	769	0.1	759	0.1			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	1,795		1,635				
前年度比	—		91.1%				

事務事業評価票

事務事業名	新庁舎建設事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	新庁舎建設事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28 ~H37
老朽化、狭隘化等の問題を抱える現庁舎を建て替え、将来にわたり、来庁者や職員の安全安心を確保するとともに、満足度の高い行政サービスを提供する環境を整えるもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 庁内委員会の開催(平成29年度) (1) 委員会 5回 (2) 幹事会 4回 (3) 作業チーム 1回
2 建設場所の選定 (1) 現在地を建設候補地(案)とし、有識者による検証を受けることについて市議会で協議し、了承 (2) 新庁舎建設候補地検証委員会による検証を受け、更に市議会で協議し、了承を得て、現在地を新庁舎の建設場所に選定
3 市民等の意見聴取 新庁舎建設基本構想及び基本計画の策定に向けて、市民や職員の意見や提案を聴取するため、市民懇話会等を開催 (1) 市民懇話会(計3回) (2) 庁内ワークショップ(計3回) (3) 市民ワークショップ(計2回)
4 新庁舎建設基本構想骨子(素案)の作成 市民等から聴取した意見や提案を元に、基本構想の骨子(素案)を作成
5 庁舎建設基金の積立 29年度積立額:1,001,481千円 (基金現在額:2,001,481千円)

＜現状に対する認識＞

新庁舎建設に向けて、新庁舎のコンセプトや求められる機能等について、広く市民等の意見を聴取し、市議会と随時協議しながら、市民に対する丁寧な説明を工夫しつつ計画を進める必要がある。
--

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
主な取組み		○新市役所庁舎の検討
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	新庁舎建設事業進捗率(基本計画策定後、再度設定)				
指標の設定理由	事業の進捗状況をもって測定できるため				
目標値	3.8%	15.1%	26.4%	37.7%	49.0%
実績値	3.8%	15.1%			
達成度	100.0%	100.0%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,000,000	1,001,907			
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,000,000	1,001,907			
② 人件費(千円)	7,690	人工 7,590	人工	人工	人工
正規	7,690	1	7,590	1	
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	1,007,690	1,009,497			
前年度比	—	100.2%			

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	中核市移行事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	主な取組み	○中核市、連携中枢都市の研究
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	中核市移行事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～

中核市への移行により、自立した主体的な行政運営の強化を図り、更なる市民サービスの向上を目指すもの。
連携中枢都市圏の形成により、各市村のみでは対応できない広域的な課題の解決に向けて取り組み、松本地域の活性化を目指すもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 中核市移行に関する基本的な考え方の策定
- 2 移譲事務に関する県との協議、調整
- 3 中核市移行の効果及び課題の整理
- 4 保健所設置の検討(保健所有識者会議及び保健所設置検討委員会の開催等)
- 5 中核市移行に関する検討結果報告書の作成
- 6 中核市移行方針案の作成
- 7 市民への周知

<現状に対する認識>

中核市移行に係る次の課題について、解決に向けた取り組みが必要である。
・移譲事務の引継ぎに向けた県との調整
・保健所設置の検討
・人材の確保及び育成
・移行に係る経費の精査

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	80		380							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	80		380							
② 人件費(千円)	15,380	人工	25,660	人工		人工		人工		人工
正規	15,380	2	22,770	3						
嘱託	0	0	2,890	1						
合計コスト①+②	15,460		26,040							
前年度比	—		168.4%							

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	主な取組み	
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

各種協議会等へ加入することで、情報交換、業界動向の把握、先進事例の共有を図り、本市にとって重要な政策課題の解決に向けた取組みを推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 松本広域連合
31,714,000円
- 2 全国過疎地自立促進連盟
56,700円
- 3 全国施行時特例市市長会
50,000円
- 4 地方自治研究機構
45,000円
- 5 大糸線利用促進輸送強化期成同盟会
200,000円
- 6 姫川港整備促進同盟会
15,000円
- 7 中央東線高速化促進広域期成同盟会
20,000円
- 8 篠ノ井線松本地域活性化協議会
192,000円

<現状に対する認識>

加入の意義・必要性を検討の上、随時、加入団体の見直しを行う必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	33,382		32,293							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	33,382		32,293							
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1						
嘱託	0		0							
合計コスト①+②	34,151		33,052							
前年度比	—		96.8%							

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	行政評価事業
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	行政評価事業費

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	主な取組み		
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	H28～H 31
--------	----------

第10次基本計画の策定に基づき実施する事業の評価として、行政評価を実施するもの。
また、市政運営の基礎資料とするため、市民アンケートによる満足度調査を継続実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内部評価(庁内評価) 全事務事業を対象に内部評価を実施
2 外部評価 (1) 市民評価委員(20名)と有識者(2名)を委員とし実施 (2) 市民懇談形式での委員会を実施し、市民目線の客観的な意見を聴取
3 市民満足度調査 若者や子育て世代層の政策ニーズ等を把握することを目的に実施 対象 若者、子育て世代(18歳～39歳) 期間 平成30年1月10日～2月5日 対象数 2,400人 (回収数:932件 回収率:39.3%)

<現状に対する認識>

第10次基本計画の着実な推進を目的とした、事務事業評価手法を検討することが必要と考え、平成29年度から新たな事務事業評価を実施した。
また、市民満足度調査についても、若者・子育て世代を対象に的を絞った調査を実施した。
内部評価、外部評価及び市民満足度調査について、実施計画、予算編成へ反映させることが課題である。

<指標の達成状況>	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	外部評価実施基本施策数				
指標の設定理由	事業の進捗状況が直接的に把握できるため。				
目標値	-	14	28	56	-
実績値	-	14			
達成度	-	100.0%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,440		2,876				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	2,440		2,876				
② 人件費(千円)	769	人工	2,277	人工		人工	
正規	769	0.1	2,277	0.3			
嘱託	0		0				
合計コスト①+②	3,209		5,153				
前年度比	-		160.6%				

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	「健康寿命延伸都市・松本」の創造事業
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取り組み	
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	「健康寿命延伸都市・松本」の創造事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H21～

市民一人ひとりが健康を増進し、明るく元気に暮らすまち「健康寿命延伸都市・松本」の創造を、市民と産学官が一体となり、連携、協働して進めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 「健康寿命延伸都市・松本」の創造協議会の開催
創造協議会開催数 年間3回開催
(うち1回は松本版地方創生総合戦略の取組みに対する検証を目的に地方創生拡大版を開催)
- PRへの取組み
「健康寿命延伸都市・松本」の市民への更なる啓発・周知のためPR活動を実施
 - ピンバッジ販売
 - 新たなリーフレットの作成(第10次基本計画を反映) 5,000部
 - 玄関前掲揚旗の作成

<現状に対する認識>

「健康寿命延伸都市・松本」の創造協議会を、年間3回開催しているが、松本版地方創生総合戦略の取組みに対する検証機関としての位置づけあり、3回のうちに1回は検証を行い意見聴取をしている。会議のあり方を見直し、活用するように努める。
総括として、市長任期最終年のH31 にフォーラム等の開催を検討する。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	584		3,766							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	584		3,766							
② 人件費(千円)	1,823	人工	1,807	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	285	0.1	289	0.1						
合計コスト①+②	2,407		5,573							
前年度比	—		231.5%							

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	県営空港対策事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県営空港対策事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み		○信州まつもと空港の国際化や機能強化の研究
5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
松本版総合戦略		

<事業の狙い>

事業計画年度

H23～

運行会社等への支援を通じて、県内唯一の空の玄関口である信州まつもと空港を活用した観光振興、地域活性化を進める前提となる、航空路線の維持、充実を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ネーミングライツ事業
フジドリームエアラインズ(FDA)の機体にロゴ・キャラクターを掲出。H29年度は新たに愛称を命名
- スポンサー支援事業
地元企業・団体がスポンサー事業を活用した広告・宣伝事業を行う経費を支援(スポンサー企業による支援企業数 5社)
- 地元対応
地元地区の地域振興策等への対応及び地区空港対策委員会へ交付金の交付による地元理解の促進
・地元地区空港対策委員会総会、連絡会への参加 5回
・交付金 500千円
- 全国民間空港市町村協議会への参画
・空港フォーラム、事務担当者研修会への参加 2回
- 既存路線の拡充、新規路線開拓事業
県の方針に基づき、既存路線の拡充の他、国内、国際チャーター便の新規路線等について、運航会社等と調整、要望

<現状に対する認識>

・事業を通じて、地元の理解促進、運航路線維持が図られている。しかしながら、ヘリコプターの騒音等、新たな問題も生じており、地元の声を県等の関係機関へ伝え、対応を求めていく必要がある。
・ネーミングライツ事業について、本年度、愛称を命名したため、多様な場面で活用されるよう検討する必要がある。
・他の空港の事例等の収集に努め、松本空港へ生かせるよう研究し、合わせて、県への働きかけを行う必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	信州まつもと空港定期便数(便/日)				
指標の設定理由	路線の維持・拡充の状況を直接的に測定できるため				
目標値	6	6	8	8	8
実績値	6	6			
達成度	100.0%	100.0%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	20,748		20,492							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	20,748		20,492							
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工		人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2						
嘱託	0		0							
合計コスト①+②	22,286		22,010							
前年度比	—		98.8%							

都市交流課

課長 松林 典泰

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	国際交流推進事業
-------	----------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	国際交流推進事業

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

＜事業の狙い＞

事業計画年度

～

姉妹・友好都市及び覚書を締結している海外都市との交流を通じて、相互の文化等に対する理解、地域の国際化に貢献し得る人材の育成を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 台湾・高雄市との交流(H27.7.24 交流の覚書を締結)
 - 高雄-松本間国際チャーター便の運航にあわせ公式訪問等の実施(5月)
 - 健康・福祉分野において、高雄市の施策の視察、本市の食生活改善(減塩)の取組み、減塩食事の試食等を実施
 - 教育分野において高雄市中学校を訪問し、授業への参加、両市の英語による紹介等を実施
 - セイジ・オザワ松本フェスティバルにあわせ、高雄市中学生等の音楽教育旅行の受入、両市中学生等交流事業の実施(9月)
 - 両市中学生、スズキメソード参加による音楽会、学校交流等
- 姉妹提携45周年記念 スイス・グリンデルワルト村との交流事業
 - 公式訪問受入(4月)・・・松本市長表敬訪問、上高地開山祭参加、乗鞍地域住民との交流会、ホームステイ等の実施
 - 公式訪問派遣(7月)・・・グリンデルワルト村長表敬訪問、記念植樹、観光施設、福祉施設視察
- 姉妹都市廊坊市との交流事業
 - 日中友好中学生卓球交歓大会に、両市の中学生がペアで参加(8月)
- その他
 - 世界健康首都会議に高雄市病院関係者来松 留学生との交流事業等

＜現状に対する認識＞

各都市との双方向の交流事業を継続的に実施するとともに、各都市がお互いの都市の紹介や、交流事業の情報、交流事業への参加等の呼びかけ等の情報を発信するなど、市民に周知する取り組みが必要

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	交流事業数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	5	5	5	5	5
実績値	5	7			
達成度	100.0%	140.0%			
② 成果指標(指標名)	交流事業実施に伴う来松者及び訪問者数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	200	200	200	200	200
実績値	150	235			
達成度	75.0%	117.5%			

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	5,343		10,519							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,343		10,519							
② 人件費(千円)	14,704	人工	26,137	人工		人工		人工		人工
正規	11,996	1.56	22,466	2.96						
嘱託	2,708	0.95	3,670	1.27						
合計コスト①+②	20,047		36,656							
前年度比	—		182.8%							

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本暮らし定住化促進事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み			〇IUターンや新規就農希望者への支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略	⑥	コンパクトな都市と賑わいの創出	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本暮らし定住化促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度 18 ~

ふるさと暮らしに関心のある、都市部に在住する各世代の交流人口の増加を図るとともに、定住化を促進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 移住希望者からの住居、就職、就農等相談対応 相談件数330件(セミナー、電話、メール等)
- 移住セミナーの開催
松本市単独セミナー、安曇野市・塩尻市合同によるセミナー等実施、県主催セミナーへの参加
セミナー開催数 6回
セミナー参加者数 151組 237人
- 移住者数実績
15世帯 24人(移住者から本市に報告を受けた件数)
- 情報発信
(1) 随時、移住希望者、相談者等への情報提供、情報発信を行い、継続的な繋がりによる移住定住促進を実施
(2) ホームページ、パンフレット等の活用による定住促進情報の発信

<現状に対する認識>

- 地域との連携による移住者受入体制の構築を検討
- 民間事業者との連携による就職情報の提供、マッチング事業等の検討

<指標の達成状況>

総合評価 B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	移住世帯数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	16	16	16	17	18
実績値	14	15			
達成度	87.5%	93.8%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	688		945				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	688		945				
② 人件費(千円)	5,252	人工	6,907	人工		人工	
正規	4,768	0.62	6,907	0.91			
嘱託	485	0.17	0	0			
合計コスト①+②	5,940		7,852		0	0	0
前年度比	—		132.2%		0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

事務事業評価票

事務事業名	ふるさとまつもと寄附金推進事業
-------	-----------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	ふるさとまつもと寄附金推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度

26 ～

ふるさと納税制度を活用し、本市の魅力の発信、寄附金の獲得、ふるさとへの思い、納税に対する意識の向上等を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 実績 寄附件数 815件 寄附金額 24,605,200円
2 返礼品等の見直し (1) 6品目⇒22品目 【主な返礼品目:すいか、りんごなどの農産物のほか、伝統工芸品など】 (2) 返礼割合を3割以下に設定(総務大臣通知による)
3 ふるさと納税を活用した本市の魅力をPR (1) 寄附者に対し、本市の観光情報、健康寿命延伸の取組み、広報まつもと等を返礼品とともに発送し、本市のPRを実施 (2) ホームページやふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」による情報提供

＜現状に対する認識＞

1 寄附金の使途を明確にし、寄附金の有効活用を図るとともに、本市の魅力をも効果的にPRしふるさと寄附金の確保に努める。
2 ふるさと納税に対する返礼品の取り扱いについて、総務省から全国各都市に通知されているため、他都市の対応状況を踏まえ本市の対応を検討する。

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み		〇シティプロモーションで松本魅力を発信
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		③松本製品のブランド化

＜指標の達成状況＞

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	寄附件数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	1,000	1,125	1,250	1,375	1,500
実績値	1,041	815			
達成度	104.1%	72.4%			
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,542		5,898				
国・県							
利用者負担金							
その他							
一般財源	5,542		5,898				
② 人件費(千円)	4,919	人工	2,713	人工		人工	人工
正規	3,922	0.51	835	0.11			
嘱託	998	0.35	1,879	0.65			
合計コスト①+②	10,461		8,611				
前年度比	—		82.3%				

広報課

課長 赤羽 志穂

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	広報課	課CD	02280000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	広報業務
-------	------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	広報業務費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	904	松本の魅力発信力の強化	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の誰もがまちづくりに関心を持ち、主役としてまちづくりに参加できるように、広報まつもと、市ホームページ、ツイッター等SNS及び市政広報番組(テレビ、ラジオ)の内容充実を図り、市政情報の共有化を進めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ホームページの利用促進
知らせたい情報がわかりやすく確実に市民に伝わり、市民の知りたい情報が簡単に入手できるよう改善
- ソーシャルメディアの活用
災害時に必要とされる確かな情報を迅速に発信できる体制を整えるため、ソーシャルメディアや既存のメディアを活用したクロスメディアを展開

<現状に対する認識>

・市ホームページをリニューアルし、より市民に利用しやすいサイトとした。さらにブラッシュアップするとともに、ツイッターとの連携を図る。
・平成26年度以降、市ホームページのアクセス数が減少していたため、平成25年度のアクセス数(実績値)を成果目標としたが、平成28年度に達成できた。そのため、新情報化基本計画の策定にあわせ、平成33年度の目標値を1,850万件に設定したもの。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市ホームページのアクセス数				
指標の設定理由	研修等の成果を踏まえた情報発信による成果を測定できるため				
目標値	12,000,000	16,500,000	17,000,000	17,500,000	1,800,000
実績値	13,681,113	16,379,422			
達成度	114.0%	99.3%			
② 成果指標(指標名)	市ツイッターの利用者数(フォロワー数)				
指標の設定理由	研修等の成果を踏まえた情報発信による成果を測定できるため				
目標値	15,000	16,250	17,500	18,750	20,000
実績値	14,800	16,340			
達成度	98.7%	100.6%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	74,575		89,040							
国・県										
利用者負担金										
その他	6,041		7,114							
一般財源	68,534		81,926							
② 人件費(千円)	47,000	人工	43,730	人工		人工		人工		人工
正規	38,450	5	37,950	5						
嘱託	8,550	3	5,780	2						
合計コスト①+②	121,575		132,770							
前年度比	—		109.2%							

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	広報課	課CD	02280000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	904	松本の魅力発信力の強化	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

<事業の狙い>

事業計画年度

～

より魅力的な広報活動を推進するため、日本広報協会に加入し、情報の収集等を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 最新の情報収集
全国の自治体における広報活動の状況等、最新情報を把握する。
- 研修会への参加
協会主催の研修会に参加し、職員の資質向上を図る。

<現状に対する認識>

所期の目的を達成

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市ホームページのアクセス数				
指標の設定理由	研修等の成果を踏まえた情報発信による成果を測定できるため				
目標値	12,000,000	16,500,000	17,000,000	17,500,000	18,000,000
実績値	13,681,113	16,379,422			
達成度	114.0%	99.3%			
② 成果指標(指標名)	市ツイッターの利用者数(フォロワー数)				
指標の設定理由	研修等の成果を踏まえた情報発信による成果を測定できるため				
目標値	15,000	16,250	17,500	18,750	20,000
実績値	14,800	16,340			
達成度	98.7%	100.6%			

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	42		42							
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	42		42							
② 人件費(千円)	0	人工	0	人工		人工		人工		人工
正規	0	0	0	0						
嘱託	0	0	0	0						
合計コスト①+②	42		42							
前年度比	—		100.0%							